

社会資本総合整備計画

平成29年2月10日

計画の名称	伊勢市における東海地震・東南海・南海地震等大規模災害に備えた防災まちづくりの推進（防災・安全）							重点配分対象の該当	○			
計画の期間	平成29年度 ～ 平成29年度（1年間）		交付対象	伊勢市								
計画の目標	本市は大規模地震防災対策特別措置法に基づく地震防災対策強化地域（平成14年4月指定）、及び東南海・南海地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法に基づく東南海・南海地震防災対策推進地域（平成15年12月指定）に指定されていることから、津波被害想定区域内の避難者を受け入れる避難施設の整備を推進することを計画の目標と定める。											
計画の成果目標（定量的指標）	・津波被害想定区域内人口に対する避難施設受入れ可能人数の割合を96.6%から100.0%に増加させる。											
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考					
				当初現況値 (H29当初)	中間目標値 -	最終目標値 (H29末)						
	津波被害想定区域内人口に対する避難施設受入れ可能人数の割合を算定			96.6%	-	100.0%						
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	475.2百万円	A	475.2百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	-

交付対象事業

A 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29							
A-1	都市防災	一般	伊勢市	直接	伊勢市	都市防災総合推進事業（伊勢地区）	防災まちづくり拠点施設 津波避難タワーの整備 N=2箇所	伊勢市					475.2	-	-	
小計												475.2	-	-		
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考		
									H29							
小計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考
									H29					
合計														
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考		

交付金の執行状況

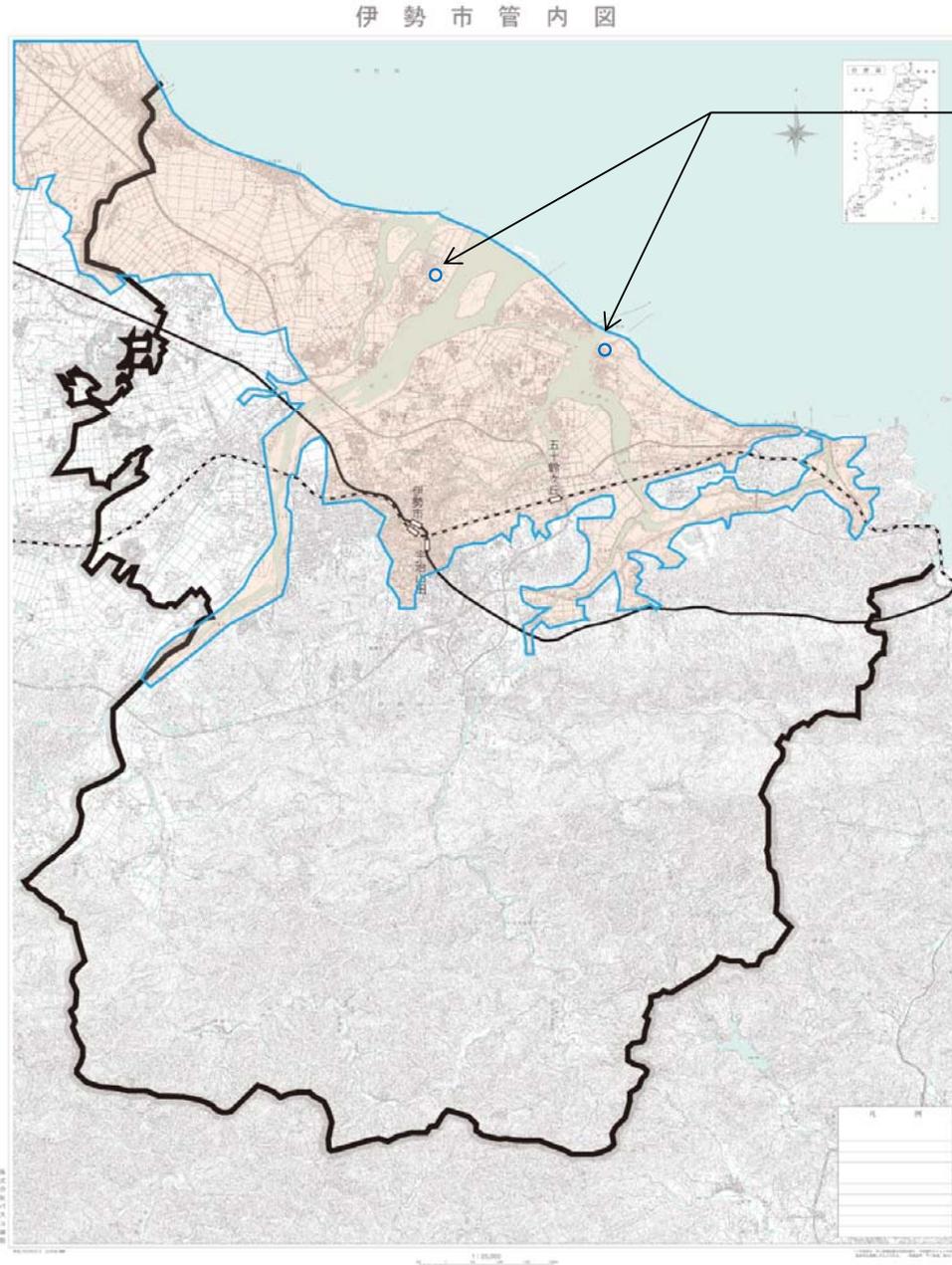
平成30年7月27日時点
(単位：百万円)

	H29	H30			
配分額 (a)	282	0			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	282	0			
前年度からの繰越額 (d)	0	126			
支払済額 (e)	156	126			
翌年度繰越額 (f)	126	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	-	-			

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

参考図面

計画の名称	伊勢市における東海地震、東南海・南海地震等大規模災害に備えた防災まちづくりの推進（防災・安全）		
計画の期間	平成29年度 ～ 平成29年度（1年間）	交付対象	伊勢市



A-1
津波避難タワーの整備 2箇所

凡 例	
	事業地区（伊勢市）
	東海地震、東南海地震、南海地震が同時に発生したときのマグニチュード9.0での津波シミュレーション（H23.10三重県）による津波浸水予測区域